

元大使館員
がみた

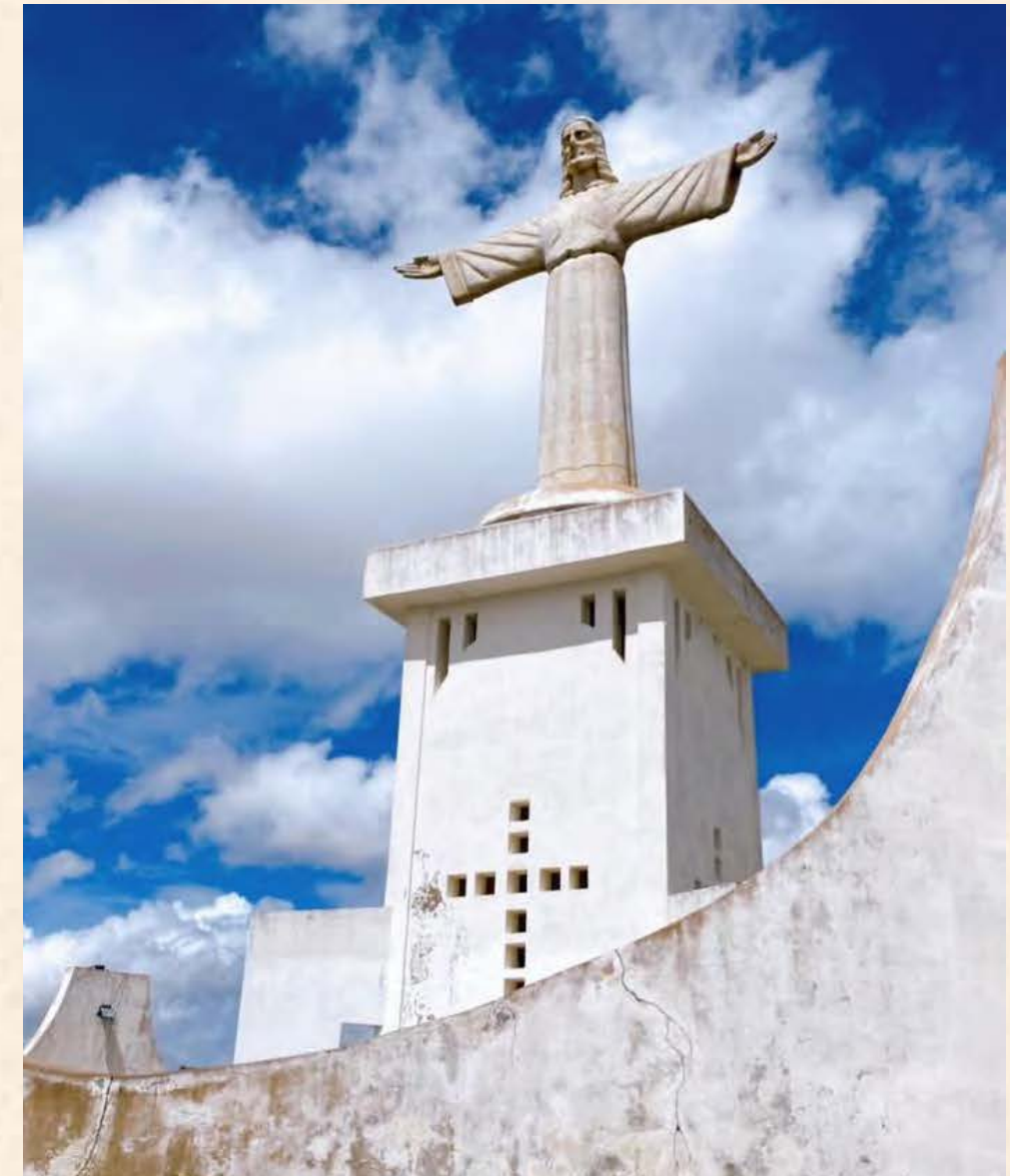
暮らしから知る アンゴラ経済と文化

立命館大学 国際教育担当嘱託講師
田村 優

2026年10月25日日本・アンゴラ国交樹立50周年記念

アンゴラを知ろう@大阪大学

Lubango



Namibe

Welwitschia

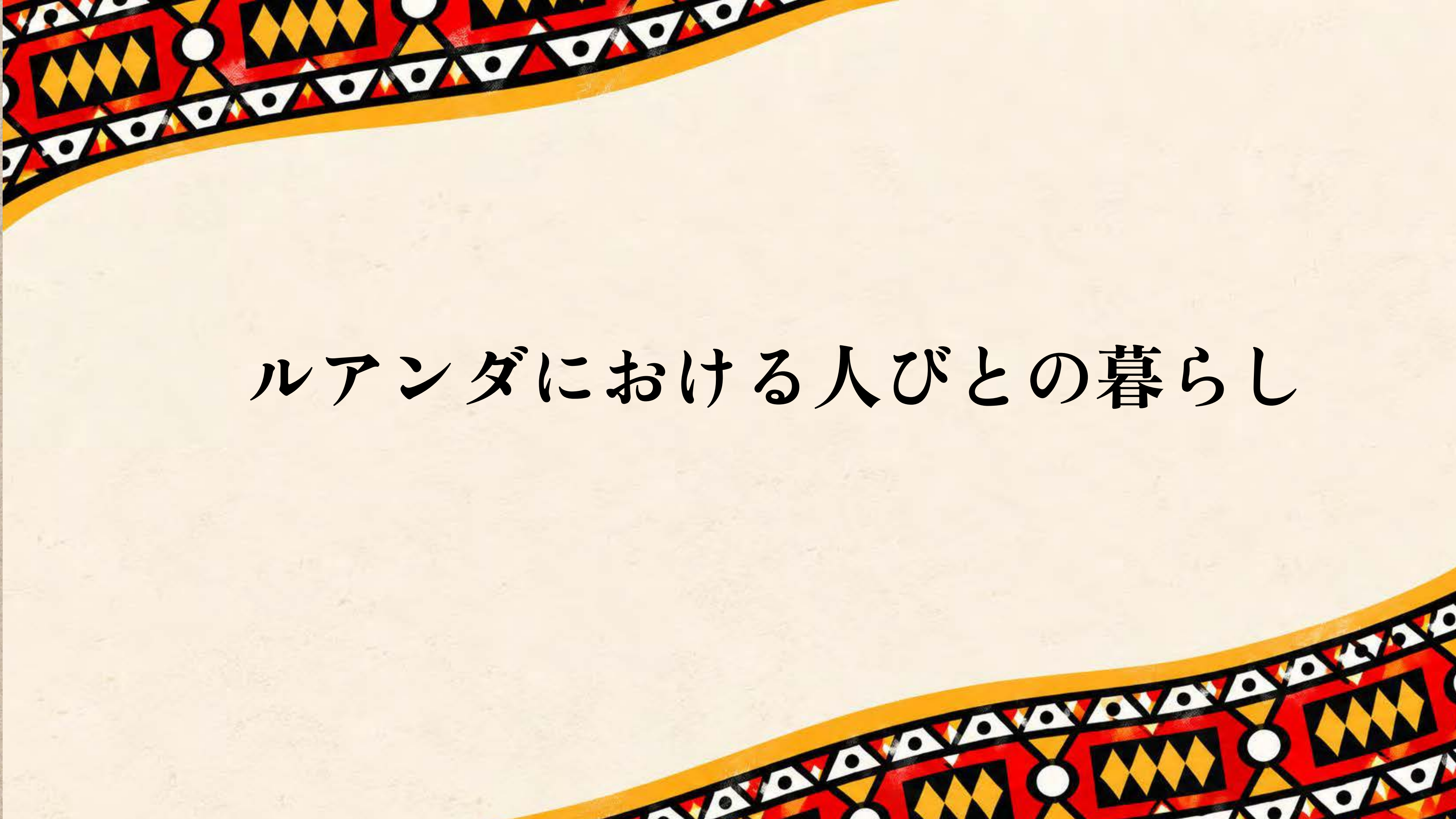


Rio Kwanza



Kalandula





ルアンダにおける人びとの暮らし

日々の生活を支えるZungueira

- 商業で働く人は全体の33.3% ⇨ どの産業よりも多い
- 女性の88.7%がインフォーマルな仕事で働いている（男性は69.5%）
- 政府の「インフォーマル経済転換プログラム（PREI）」は、小規模事業者が融資を受けやすくすることを第一の目標に掲げている（2027年まで）



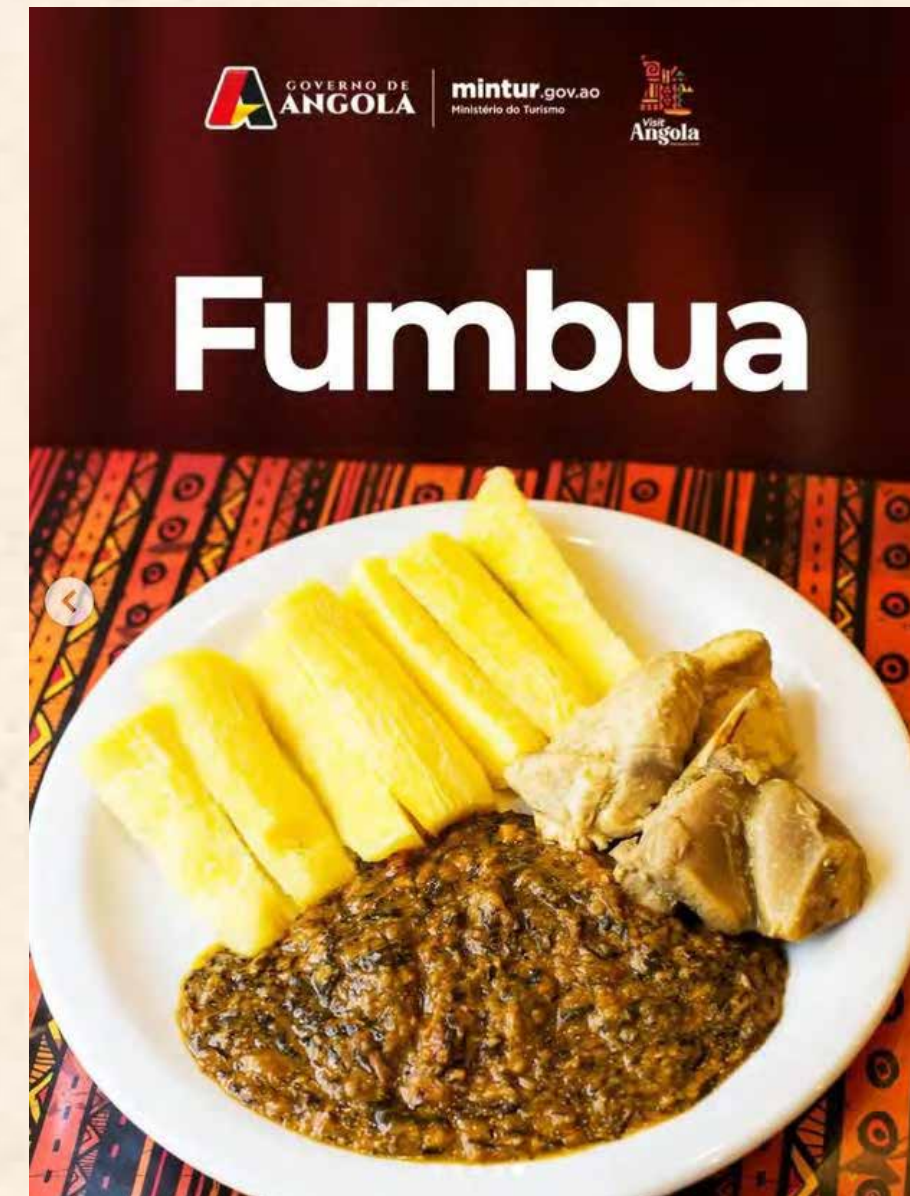
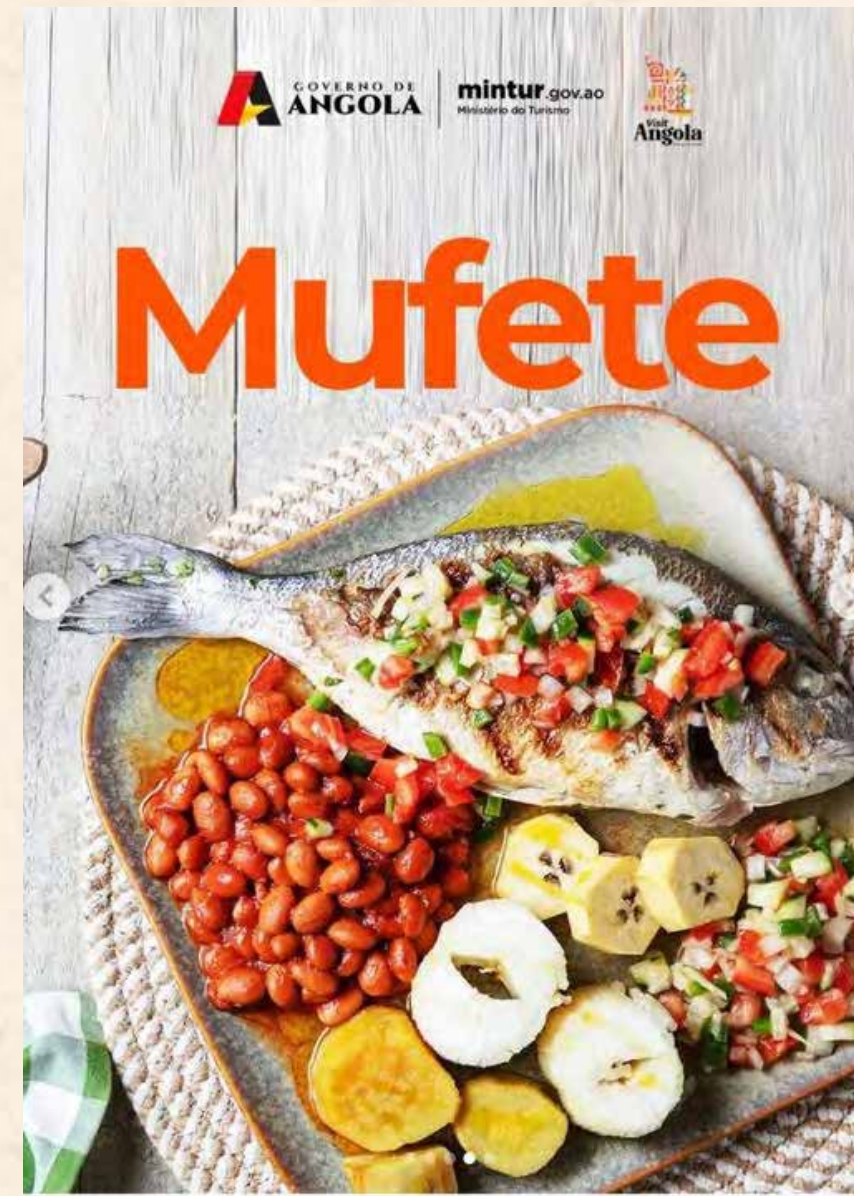
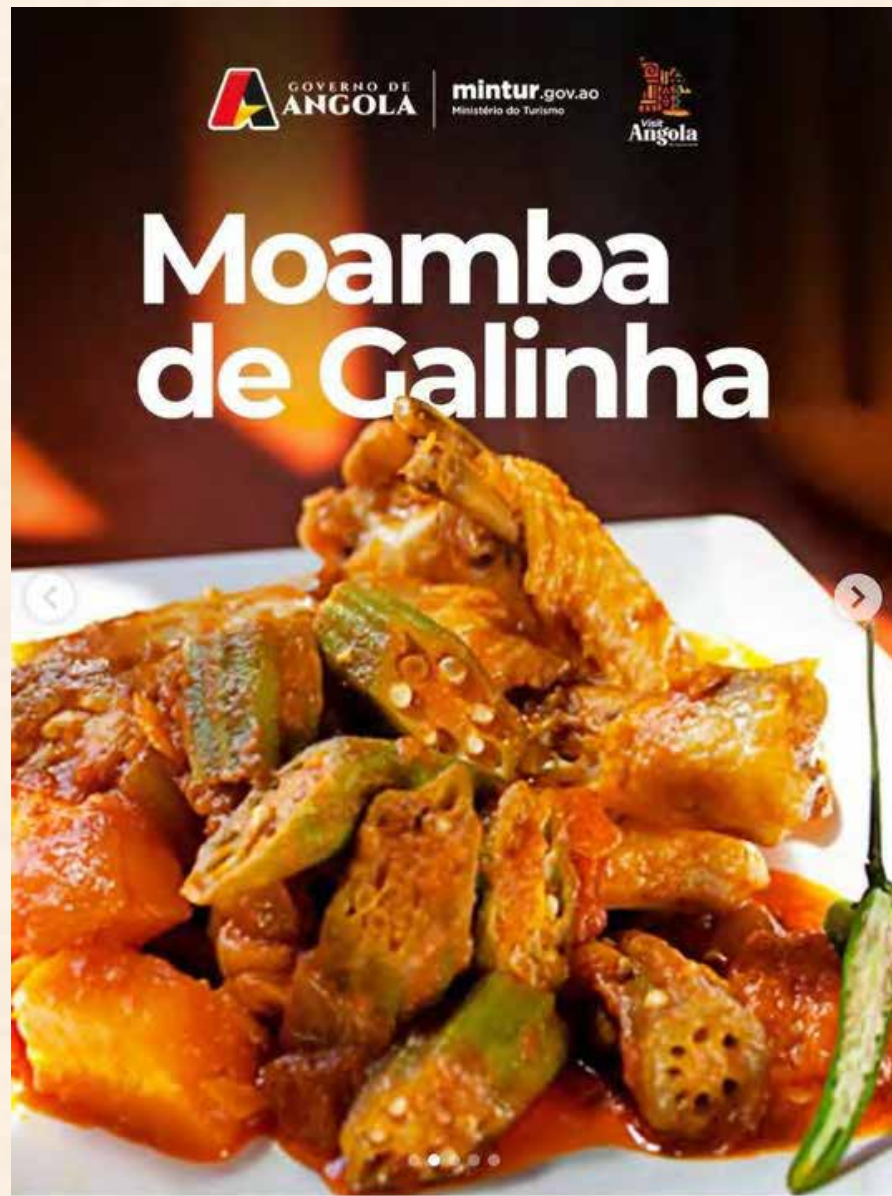
日々の移動に欠かせないCandongueiro

- 車種の多くはトヨタ・ハイエース。
中古車は日本からの輸入が中心。
- 市町村の運輸局が管理。



出所：Chat GPTにより生成(2026年10月24日)

豊かな食文化



出所：Embassy of Angola in Australia公式Instagram<https://www.instagram.com/embassyangolaaustralia/>（2026年10月24日最終アクセス）



Semba



出所：Project One Dance Films. “Semba dance - Paulo & Lanna - Maluka festa 2nd” (2026年10月24日最終アクセス)

Kizomba



出所: Join Angola. "Beautiful KIZOMBA dance from Angola: Projecto Dance"
https://www.youtube.com/watch?v=9v_1FavUHyw&t=45s (2026年10月24日最終アクセス)

Kuduro



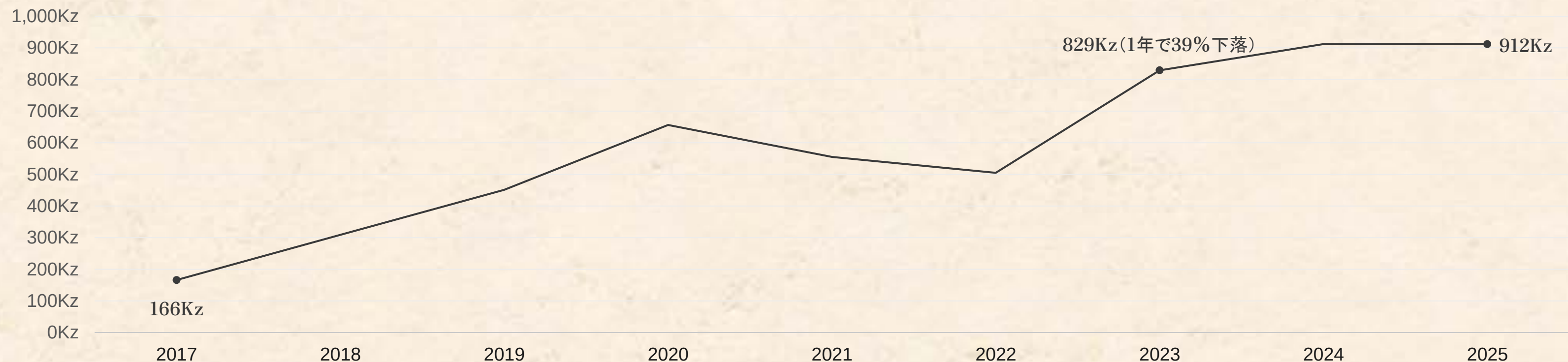
出所: AfroConex. "Angola Afrohouse/Kuduro" <https://www.youtube.com/watch?v=aUktyJiOlUw> (2026年10月24日最終アクセス)

経済情勢の変化

「物価が高い！」と言われておそるおそる来てみたら

- かつてルアンダは「世界一物価が高い都市」として知られ、海外の調査会社の生活費ランキングで何度も世界1位に（2010～2015年ごろ）¹
- 2018年の変動相場移行後、クワンザは乱高下を繰り返したが、2025年以降は1ドル＝912クワンザ前後でほぼ動かなくなった²

クワンザの対ドルレート・年末値



出所：¹ Mercer社「生活費調査」ルアンダ世界第1位（2010～2015年ほか）、² BNA（アンゴラ中央銀行）公表為替レート

経済情勢の変化① 価格の安定

- 物価上昇率（インフレ率）も2025年1月の26.5%から2026年9月には8.4%まで鈍化し、暮らしの中で感じる負担は小さくなってきた¹
- 2023年には1年で39%も値打ちが下がったクワンザだが、2025年以降は1ドル＝912クワンザ前後でほとんど動かず、輸入品が急に値上がりする不安が減った²
- 物価が落ち着いたことで中央銀行が金利を19.5%から14.75%まで引き下げ、ローンを組んだり買い物をしたりしやすい環境に³

¹ INE「Índice de Preços no Consumidor Nacional (IPCN) 月次速報」(2025年1月～2026年9月)

² BNA「taxa de câmbio公表データ」(2023年～2026年)

³ BNA「Comité de Política Monetária決定公表」(2025年～2026年)

経済情勢の変化② 国内生産量の増加

- **工業生産量が拡大**：鉱工業生産指数（IPI）は2025年11月に前年同月比+15.3%、年初来の累計でも+20.8%の増加（製造業が牽引）
- INE「Índice de Produção Industrial（IPI）」月次速報（2025年11月）



出所：Ultraangola公式Instagram
<https://www.instagram.com/ultraangolaoficial/>
 (2026年10月24日最終アクセス)



出所：Chat GPTにより生成（2026年10月24日）



出所：Angoalissar公式サイト
<https://www.angoalissar.com/produtos/primavera/>（2026年10月24日最終アクセス）



出所：Crispy Xips公式Facebook
<https://www.facebook.com/p/CrispyXips-100054443922076/>
 (2026年10月24日最終アクセス)



出所：BharatMart公式サイト
<https://bharatmart.co.ao/pt/products/cafe-ginga-soluvel-lata-100g>
 (2026年10月25日最終アクセス)

経済情勢の変化③ 鉱物資源分野への期待

「掘って売る」から「国内で加工し、新しい資源を開発する」へ

ダイヤモンド：国内で磨く

- ・ 国内で磨く原石は2021年から2025年で約4倍に
- ・ 磨いたダイヤモンドの輸出は2025年に前年の約2倍（約1億ドル）

金：国内初の精錬所

- ・ ルアンダのビアナ工業地区に建設中。2026年中の開所を目指す
- ・ 1日最大25kgの金を精錬できるようになる予定

レアアース：新しい資源

- ・ 中部ウアンボ州のロンゴンジョ鉱山。2027年に生産開始予定
- ・ 電気自動車や風力発電のモーター用磁石に欠かせない資源



出所：Endiama公式サイト

<https://en.endiamaimpresa.com/saurimo-tera-fabrica-de-lapidacao-de-diamantes/>
(2026年10月24日最終アクセス)



出所：Endiama公式サイト

<https://endiamaimpresa.com/inaugurada-a-nona-fabrica-de-lapidacao-de-diamantes-em-angola/>
(2026年10月24日最終アクセス)

経済情勢の変化④ 物流ルートの整備

- コンゴ民主共和国・ザンビアの銅山と、大西洋岸のロビト港を結ぶ鉄道
- インド洋側の港より近く、国境越えも1回で済む。



ロビト回廊（ベンゲラ鉄道）

コルウェジ～ロビト港 約1,700km
国境越えは1回

ザンビアへの延伸（計画）

ルアカノ～チンゴラ

いまの主な輸出ルート（概略）

タザラ回廊：ダルエスサラーム港まで 往復約40日
南北回廊：ダーバン港まで 往復約50日

出所： 日本貿易振興機構(ジェトロ)「ロビト回廊が変える南部アフリカ経済地図 重要鉱物輸送から広域経済回廊へ」(2026年8月)、European Commission “Connecting the Democratic Republic of the Congo, Zambia, and Angola to Global Markets through the Lobito Corridor” (Global Gateway)、U.S. International Development Finance Corporation (DFC) "DFC CEO Ben Black Signs Loan Agreement for Lobito Atlantic Railway, Securing Critical Minerals for Mutual U.S.–Africa Benefit" (2025年12月)を基に、Claudeを用いて発表者作成。ルートは概略。

日アンゴラ関係



基本情報

Marubeni



- アンゴラの在留邦人：55人（2025年10月）
- アンゴラで活動する主な日本企業：豊田通商（港湾）、丸紅（繊維工場など）、横河電機（石油・ガスの制御システム）
- 日本からアンゴラへの主な輸出品：鋼管、自動車、建設・鉱山機械、ゴム製品
- アンゴラからの主な輸入品：ダイヤモンド、アルミニウム、タコ、電気計測機器

出所：在留邦人数＝外務省「海外在留邦人数調査統計」（2025年10月1日現在）

日本企業＝外務省「海外進出日系企業拠点数調査」、Africa Business Partners「アンゴラ」国別情報ページ

輸出入品目＝財務省「貿易統計」（2024年）

日本とアンゴラ 50年の歩み

援助から、ともに成長するパートナーへ



1998年～



援助（ODA）

安全な土地を取り戻す

- 地雷除去の支援：40件以上、約2,800万ドル
- 無償資金協力・技術協力、2018年にJICA事務所開設



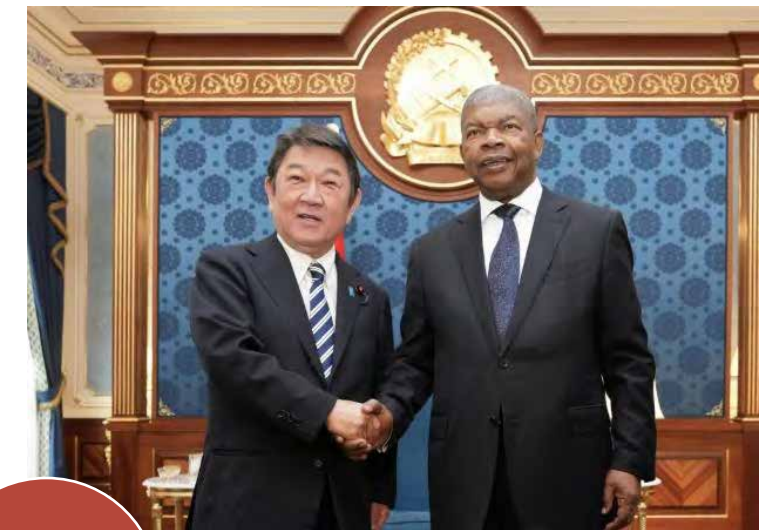
2015年～



円借款とインフラ

暮らしと経済の土台をつくる

- 円借款：電力改革支援（2015年）、南部の送電網（2025年）
- ナミベ港の再建が2025年10月に完成（豊田通商・東亜建設工業）



2024年～



パートナーシップ

ともに成長する関係へ

- 投資協定の発効（2024年）、TICAD 9（2025年）
- 茂木外務大臣の訪問（2026年5月）：重要鉱物・エネルギーで協力



Obrigada!

Matondo!

おたがいを知り、
学び合うことから、次の50年へ

Ngasakidila!

Twapandula!

